

栗山町防災ガイドブックについて

このガイドブックは、大雨による洪水・土砂災害・地震などの自然災害が起きた時にどのような避難行動をとればよいかを住民の皆さんにわかりやすく提供することを目的として作成したものです。

ガイドブックには災害への日頃の備えなどをまとめているので、自然災害に対する心構えをしっかりと身に付け、いざというときに落ち着いた行動をとれるようにしましょう。

災害種別ごとにハザードマップを収録しています。地図上に想定される浸水の深さや、土砂災害が発生しやすい場所、避難場所などを示していますので、ご確認ください。

災害はいつ発生するかわかりません。前もって家族全員で「マイ・タイムライン」を作成し、避難場所の確認やそれぞれの役割分担、連絡方法などを決めておきましょう。

このガイドブックは、災害から命を守るための情報です。大切に保管しておきましょう。

目次

防災情報

- 警戒レベルと避難情報 1
- 避難の基礎知識 1
- 指定避難所 2
- 指定緊急避難場所 3
- 福祉避難所 3
- 災害に関する情報の入手 / 災害用伝言ダイヤル「171」 .. 4
- 「非常持出品」・「備蓄品」チェックリスト 5
- 自主防災組織 5
- 要配慮者（避難行動要支援者） 5

風水害

- 雨による危険度のチェックポイント 6
- 風による危険度のチェックポイント 6
- わが家の風水害対策 6
- 竜巻への備え 7
- 雪害への備え 7
- 洪水ハザードマップ
 - 【市街地拡大版】 8
 - 【角田地区（中部）拡大版】 10
 - 【継立地区（南部）拡大版】 12

地震

- 地震発生時の行動 / 停電時の備え 14
- 揺れの強さ 15
- 地震に備える～わが家の安全対策～ 16
- 外出中に地震が起きたら 16
- 想定地震地図 17

土砂災害

- 土砂災害の警戒種別 18
- 土砂災害の種類 18
- 前ぶれ現象に注意 18
- 安全に避難するために 18
- 土砂災害（特別）警戒区域一覧 19
- 土砂災害ハザードマップ
 - 【桜丘・湯地・雨煙別地区】 19
 - 【桜山・継立・日出地区】 20
 - 【滝下地区】 20

巻末ポケット ハザードマップ【栗山町全域】

防災情報

警戒レベルと避難情報

災害時には、栗山町から災害情報や避難指示などの情報を発信します。避難の呼びかけを受けたときは、速やかに命を守る行動をとりましょう。また、危険を感じた場合は自主的に避難しましょう。

警戒レベル	避難情報など	住民がとるべき行動
警戒レベル5 命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保 ※1 (栗山町が発令)	災害が発生・切迫している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。
~~~~~ 〈警戒レベル4までに必ず避難！〉 ~~~~~		
<b>警戒レベル4</b> <b>危険な場所から 全員避難</b>	<b>避難指示</b> (栗山町が発令)	速やかに避難行動をとりましょう。避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内より安全な場所に避難しましょう。
<b>警戒レベル3</b> <b>危険な場所から 高齢者等は避難</b>	<b>高齢者等避難</b> ※2 (栗山町が発令)	ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児など、避難に時間のかかる人とその支援者は退避行動をとりましょう。
<b>警戒レベル2</b>	<b>大雨・洪水注意報</b> (気象庁)	避難に備え、ハザードマップなどにより、自ら避難行動を確認しましょう。
<b>警戒レベル1</b>	<b>早期注意情報</b> (気象庁)	気象情報などに注意して、災害への心構えを高めましょう。

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、**警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。**

※2 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をし、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

### 避難の基礎知識

避難とは「**災害から命を守るための行動**」です。災害が迫ったとき、置かれた状況は一人ひとり異なります。それぞれが自ら判断し適切な行動をとらなければなりません。

#### ●水平避難

危険が切迫している場合は指定された避難場所へ移動する。



#### ●垂直避難

屋外への避難が危険な場合は自宅や近隣の頑丈な建物の上階に避難し、救助を待つ。



### 避難場所に行くことだけが避難ではありません！「避難」とは「難」を「避」けることです！

#### 行政が指定した避難所への立退き避難

避難の際は非常持出品を携行しましょう。

#### 安全なホテル・旅館への立退き避難

通常の宿泊料が必要です。事前に予約・確認しましょう。

#### 安全な親戚・知人宅への立退き避難

普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

#### 屋内安全確保

浸水の危険があっても「**3つの条件**」が確認できれば自宅に留まり安全を確保することも可能です。

普段から  
どう行動するか  
決めておき  
ましょう

**3つの条件** ※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。

①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない ②浸水深より居室は高い ③水が引くまで我慢でき、水・食料などの備えが十分